

幼保小の架け橋プログラムに関する調査研究事業



枚方市の取組

枚方市教育委員会 教育指導課
教育研修課
児童生徒支援課



枚方市役所

私立保育幼稚園課
公立保育幼稚園課



【架け橋期のカリキュラム開発に向けての概要】

令和4年度

モデル地域開発会議において「小学校区で育てたい資質・能力」を5つの視点で整理した『クローバー図』の作成

令和5年度

- I モデル地域開発会議において『クローバー図』を活用したモデル地域版架け橋期のカリキュラム(名称未定)を作成
- II 各校区体制において『クローバー図』を参考に「育みたい資質・能力」を設定
- III 「クローバー図を活用した実践例」を基にどの地域においても活用可能な「枚方版架け橋期のカリキュラム(名称未定)」の作成

令和6年度

『枚方版架け橋期のカリキュラム(名称未定)』を手掛かりに各校区で『○○小学校区版架け橋期のカリキュラム(名称未定)』を作成予定

令和4年度 モデル地域開発会議

・メンバー構成

小学校1校、
公立幼稚園1園、私立認定こども園1園
公立保育所2園、私立保育所3園

1小学校
と
7就学前児童施設

年8回実施

・概要

情報交流や事例研修などを行い、カリキュラムの開発に向けた会議を月に1回程度実施。

公立幼稚園長が架け橋コーディネーター

※架け橋コーディネーターとは、各校区の窓口連携推進会議を調整する役割を担う。

令和4年度 【クローバー図作成のプロセス】

1枚の写真から子どもの姿を見取る
フォトチャット研修を中心に…

同じ行事で子どもに育てたい
資質能力について意見交流す
ると重点を置いている視点の
違いが明確になった!



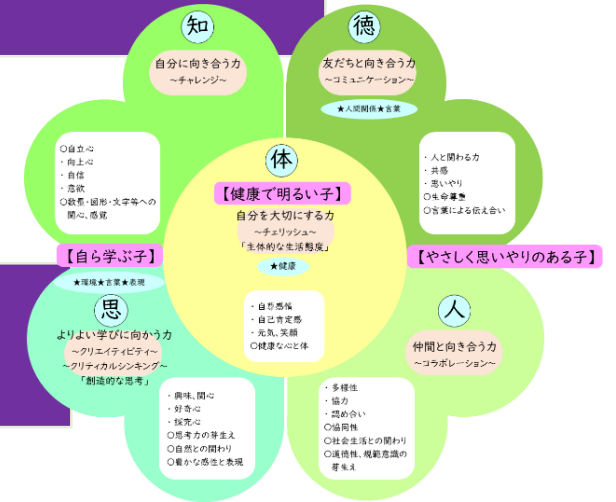
「3つの資質能力」を視点
にすると今の子どもの育ち
を評価することになるんだ!

「10の姿」を視点にすると、
育ちつつある子どもの姿を
読み取ることができるね!

0歳から18歳まで見通して子どもに育てたい資質能力を協議する中で…



幼保小相互に共通する5つの視点をクローバー図として作成



18歳

資質・能力がつながるイメージ図

学びに向かう力・人間性等

枚方市の教育理念

夢と志を持ち、可能性に挑戦する”枚方のこども”

コミュニケーション
友だちと向き合う力

コラボレーション
仲間と向き合う力

知識・技能

思考力・判断力
・表現力等

クリエイティビティ
よりよい学びに向かう力
クリティカルシンキング

チャレンジ
自分に向き合う力

架け橋期

生きる・遊ぶ・学ぶことが楽しい!
自分大好き♡



友だち・仲間と一緒にによりよく生きたい・遊びたい・学びたい!
友だちっていいな♪
互いを大切にしよう態度☆



幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

5領域を総合的に学んでいく姿〈心情・意欲・態度〉

0歳

生命の保持
(生命の尊さに対する感性・健康で安全な生活を送る習慣・態度)

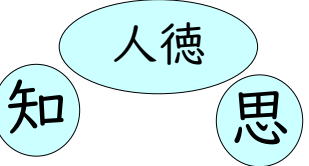
チェリッシュ
自分を大切にする力

情緒の安定
(自己肯定感・他人を大切にする心)

【クローバー図の概念】

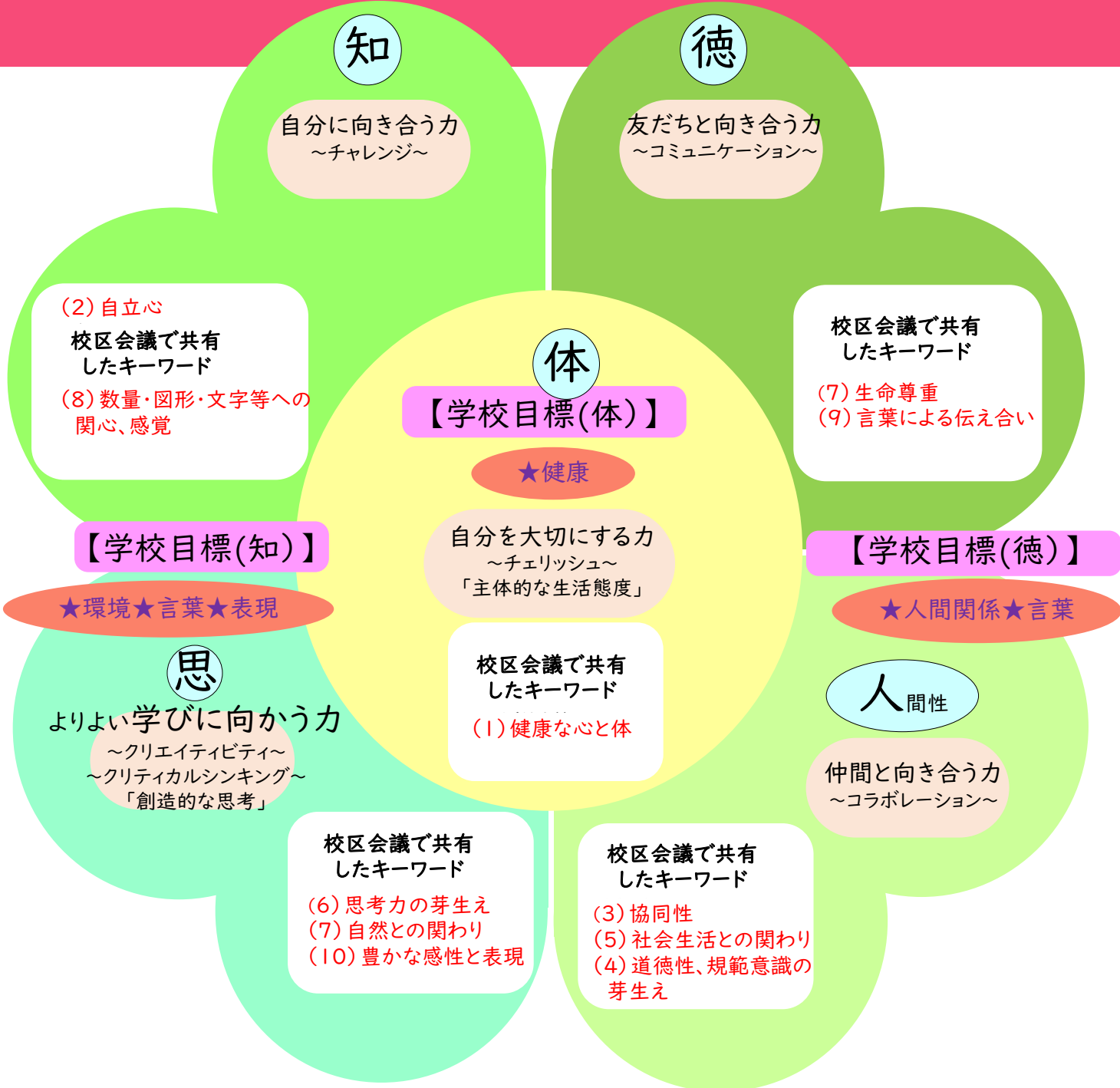
① 生きる力 (知・徳・体)

② 3つの資質能力



③ ★5領域

④ 幼児期の終わりまでに 育てほしい姿 (1)~(10)



【幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の考え方】



10の姿が重なり合って育っていること

校区で育てたい資質能力は違うこと

↓

振り分けはいろいろ

※クローバー全体を俯瞰して10の姿は全てどこかの視点でつながっていることに留意

【枚方市が目指す教育とクローバー図との関連図】

枚方市の教育理念 ~枚方市教育大綱~

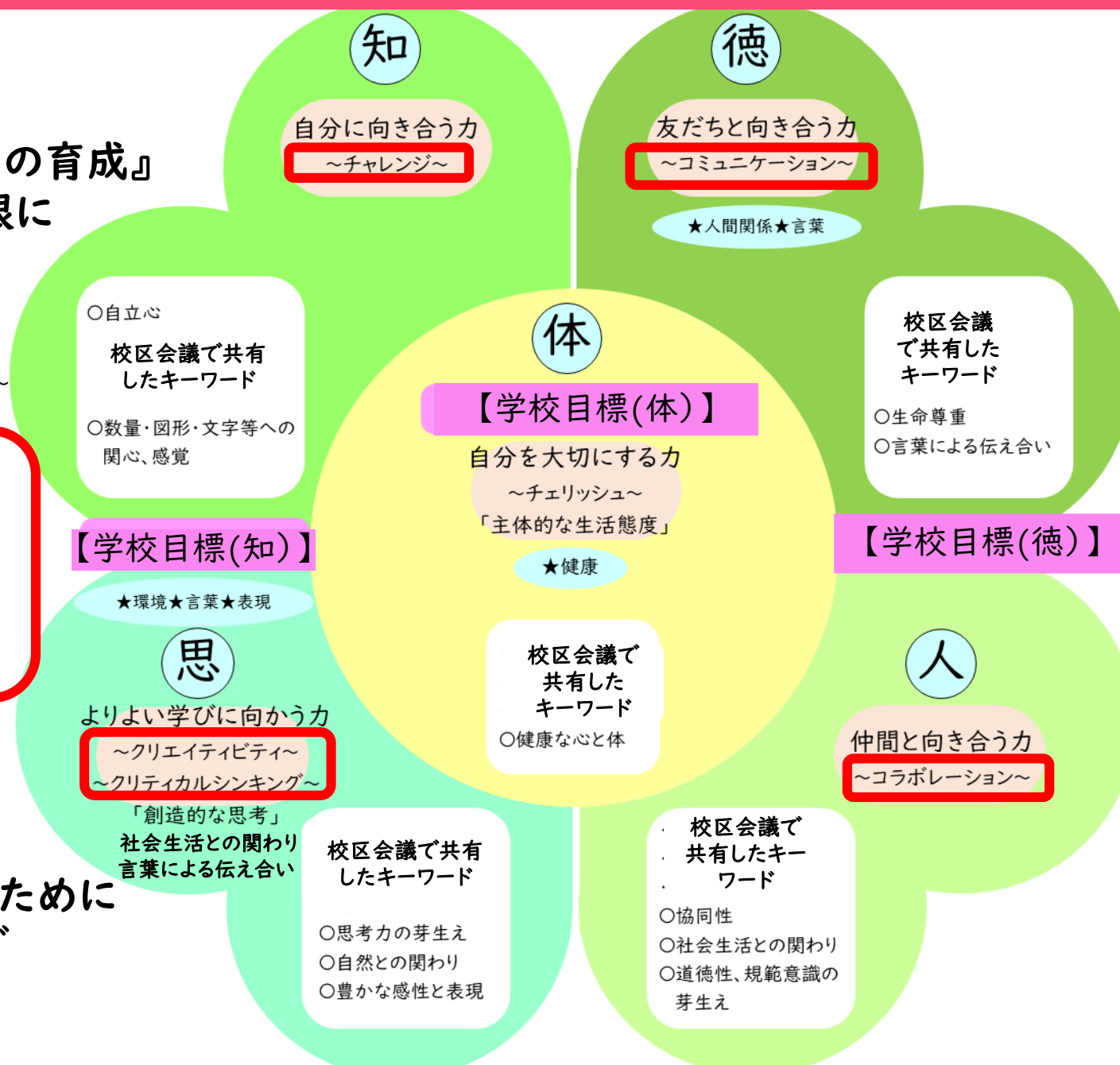
『夢と志を持ち、可能性に挑戦する”枚方のこども”の育成』
~ 子どもたちの未来への可能性を最大限に
伸ばす枚方の教育~

枚方市で育てたい資質・能力 ~枚方版ICT教育モデル~

5C(「チャレンジ(粘り強さ)」「コミュニケーション(対話)」「コラボレーション(協働)」「クリティカルシンキング(批判的思考力)」「クリエイティビティ(創造)」)の視点

大切にしたいこと ~枚方市教育大綱~

それぞれの学校園所が授業・保育の質を向上するために子どもたちにとって、ワクワクする主体的・対話的で深い学びの実現を目指し、各地域で特色ある交流(先生同士・子ども同士)の推進



枚方市が大切にしている小中学校教育における5つのCの視点

枚方市では、学習指導要領が示す、これからの子どもたちに必要な資質・能力を育成するために、Cから始まる5つの視点を大切にします。

1人1台のタブレット端末を活用し、5つのCの視点を意識し、「学びに向かう力、人間性等」「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」を身につけていきます。

C Challenge

チャレンジ 挑戦

学校生活の中で、課題を解決したり、目的を達成したりするために、困難な問題や未経験のこと等に積極的に取り組みます。また、自分自身で新たな課題を発見します。

問題発見
問題解決



家庭学習
学習習慣

粘り強さ
積極性

C Creativity

クリエイティビティ 創造

課題や目的を解決するための柔軟なアイデアを表現します。また、アイデアを相手と共有することで、より深まりのあるアイデアを創り出します。

創造



表現
制作

アイデアの共有

C Critical thinking

クリティカルシンキング 思考・判断

物事を多面的な視点でとらえながら、調べた内容や相手の意見等の情報を正しく判断するために、その理由や事実に矛盾がないかどうかについて、自ら考え、分析し、判断します。

批判的
思考



情報分析
判断

C Communication

コミュニケーション 意思伝達

相手の立場を意識しながら、自分の考えを相手にわかりやすく、効果的に伝えます。また、相手の意見や考えを正しく理解するために聴きます。

発表
プレゼンテーション



遠隔授業
オンライン

対話
議論
意見交流

C Collaboration

コラボレーション 協働

課題を解決したり目的を達成したりするために、自分と異なる考え方を持つ人を尊重し、認め合いながら協力して取り組みます。

多様な考えの尊重



連携
協働制作

5Cの視点とチェリッシュにつながる就学前教育に育ちつつある資質能力

Challenge チャレンジ 挑戦

生活や遊びの中で、トラブルを解決したり、目的を達成したりするために、すぐに解決できそうにない問題や未経験のこと等に主体的に取り組みます。また、周りの人と関わる中で、いろいろな課題に気づき、考え、工夫し解決・達成に向けて諦めずにより遂げようとしています。

興味・関心・意欲
好奇心
粘り強さ・達成感

運動遊び
異年齢交流

目標に向かって取り組む遊び



→ 主体的な生活ができる環境づくり

Communication コミュニケーション 意思伝達

相手の思いを意識しながら、自分の気持ちや考えを相手に伝えようとしています。また、相手の意見や考えを知ることによって自分の気持ちをコントロールします。

愛情
表現力
共感性
自己調整

集団遊び
(こっぴつこいあいやゲームなど)



→ 友だち関係を広げる活動づくり

Creativity クリエイティビティ 創造

周囲の環境に好奇心や探究心をもって関わり試行錯誤しながら新しい考えを生み出す喜びや楽しさを味わい、自分の考えをよりよいものにしようとしています。

創造
柔軟性
発想力
充実感
知識欲

絵画制作
身体表現遊び



→ 創造的な思考を促す環境づくり

Cherish チェリッシュ 自尊感情・自己肯定感

自分の良さや可能性を信じ、周りの環境との関わりを通して自分なりの方法で自分のペースで行動することに自信を持つようになります。

健康な心と体

生活
運動遊び
主体的な活動



→ 安心して自己発揮できる環境づくり

Critical thinking クリティカルシンキング 思考・判断

身近な事象と多様なかわりを楽しみの中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり予想したり工夫したりするようになります。

探究的な学び
自然との関わり

予想
期待感
思考力の
芽生え



Collaboration コラボレーション 協働

共通の目的を実現するために、自分と異なる考え方を持つ人を尊重し、認め合いながら協力して取り組みます。

多様な
考えの尊重
探究心
思いやり
協調性

自然との関わり・生命尊重
異年齢交流
協同的な遊び



→ 学級での居場所づくり

①5歳児と1年生の生活科合同授業保育後に子どもの姿をクローバーの視点で整理

②小学校の先生が保育所を見学した後に、印象に残った子どもの姿をクローバーの視点で整理

③1学期の1年生の姿をクローバーの視点で整理

④1学期の就学前児童施設の遊びをクローバーの視点で整理

⑤昨年度、月ごとに大切にしていた活動をクローバーの視点で整理

⑥第2回 幼保こ小連携担当者連絡会にて各校区にて5歳児の砂場遊びから読み取った子どもの育ちをクローバーの視点で整理

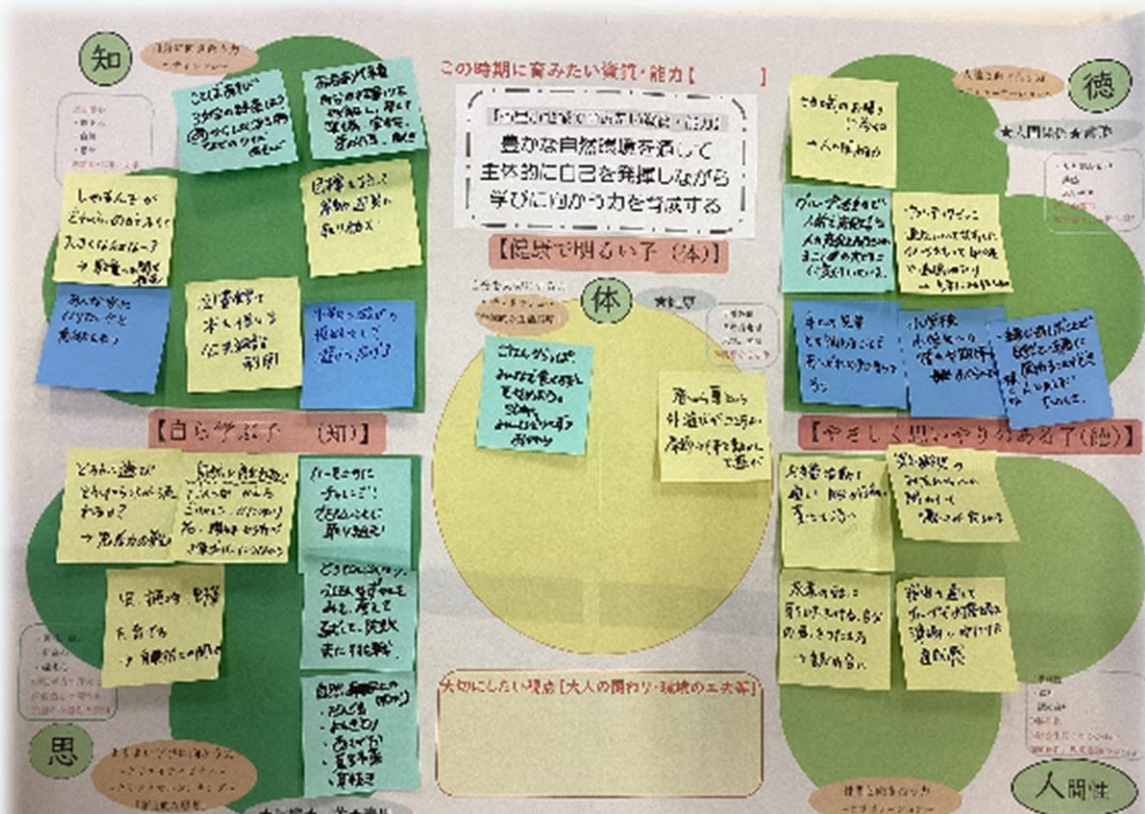
①～⑤

モデル地域開発会議にて検証

⑥各校区にて実施

令和5年度 I

①～⑤『クローバー図』を活用し、
モデル地域版架け橋期のカリキュラムを作成(1学期の取組)



付箋とクローバー図で検証→全体で共有

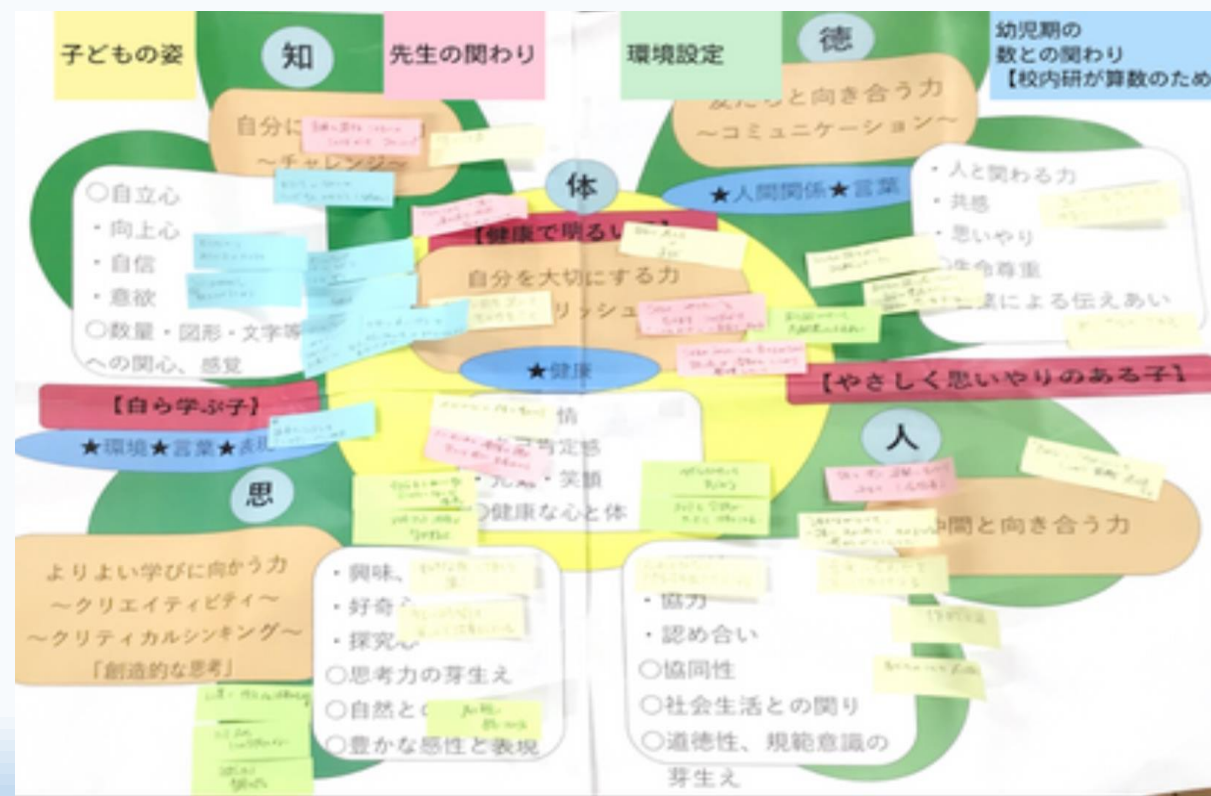
実践例② 保育参観後

～6月初旬から7月中旬～

②小学校の先生が保育所を見学した後に、印象に残った子どもの姿をクローバーの視点で整理

→視点をもって子どもを見たら育っている力が見え、遊びを通して何が育っているかが明確になる。

ただ遊んでいる
だけじゃないんだ!



実践例③ 1学期の1年生の姿から ~7月下旬~

③ 1学期の1年生の姿をクローバーの視点で整理

香里小地域で育みたい資質・能力
【豊かな自然環境を通して、主体的に自己を発揮しながら学びに向かう力を育成する】

小学校 1学期の姿バージョン

知

- ・自分の好きを深める。
- ・やってみたくいことを見つけてやってみる。
- ・種や葉をよく観察する。
- ・雨の日の素敵をみつける。

【自ら学ぶ子 (知)】

- ・どんなものがどこにあるか見つける。
- ・気になる場所に、もう一度行ってみる。
- ・場がないことをアイデアに出して提案する。
- ・見つけたことを言語化して表現する。
- ・自然科学への気づき・興味。

思

体

【健康で明るい子 (体)】

- ・みんなで遊んで楽しい!!
- ・自分で育てたからこそ花が咲いた。
- ・観点をしばって遊び場に出かける。

- 深める 見つける やってみる
- 想像してアイデアを出し提案する
- 見つけたことを言語化して表現する
- 気づき・興味
- 大切にす
- つながる
- 関わってみる
- 守る

徳

- ・上級生と関わる。
- ・より良いお世話を考える。(あさがおの気持ち)

【やさしく思いやりのある子(徳)】

- ・地域の公共物を大切にす。
- ・同じ興味の友だちとつながる。
- ・友だちと関わってす。
- ・うりこタイム 時間を守る
- ・うりこタイム 準備・片付け

人間性

- 深める 見つける やってみる
- 想像してアイデアを出し提案する
- 見つけたことを言語化して表現する
- 気づき・興味
- 大切にす
- つながる
- 関わってみる
- 守る

言葉の使い方が難しく感じられても、育てようとしている方向性は同じなんだ!

→生活科に特化したことで〇〇しようとする、やってみるなど幼児教育になじみのある言葉で子どもの姿を捉えることができ、共通性が見えやすくなる。

実践例④ | 学期の就学前児童施設の遊びから ~7月下旬~

④ | 学期の就学前施設の遊びをクローバーの視点で整理

香里小地域で育みたい資質・能力
【豊かな自然環境を通して、主体的に自己を発揮しながら学びに向かう力を育成する】

就学前 | 学期の姿バージョン

~主な活動~

- 言葉遊び 感触遊び 栽培 飼育 お泊り保育
- 自然とふれあい遊び 運動遊び グループ活動
- 体育遊具 お祭り 当番活動

【健康で明るい子(体)】

体

- 新しいクラス新しい先生に親しみ安心感をもつ。
- 春から夏にかけて外遊びが心地よい季節を感じながら体を動かして遊ぶ。
- 体を思いきり動かす。
- 戸外で十分に体を動かして遊ぶ。
- 食への興味

- 楽しむ 喜ぶ 気づく 親しむ 興味を持つ 挑戦する
- 試す 高める 意欲を持つ 作戦を立てる 感触を味わう やってみようとする 関わろうとする 試そうとする
- 喜び合う 相手に伝える 喜びを感じる 認め合う
- 他の人のためにできることを考え、動かそうとする
- 喜びを感じる 優しくする 目的を持つ 守る
- 役割分担する 寄り添う 相手の思いを聞く 耳を傾ける 自分の思いを伝える

徳

- 生長に気づいたことを友だちと喜び合う。
- 自分の考えたことを相手に伝える。
- 人の役に立つ喜びを感じる。
- 相手の様子に応じて関わろうとする。
- 友だちの意見を認め合う。
- 状況を見て、他の人のためにできることを考え、動かそうとする。
- 年長になった喜びを感じると共に、年下の子に対して優しくしたりする。

【やさしく思いやりのある子(徳)】

- 友だちと目的をもって遊ぶ。(水を流したい・水を溜めたい・トユをつなげたい)
- ルールある遊びをやってみる、守る。
- 自分たちで役割分担をする。(絵を描く・色をぬる・グループの絵を完成させる。)
- 年下の子にも優しく接する。
- 小さな子に優しく関わる。
- 相手の思いに寄り添うことができる。
- 友だちと誘い合って、ルールのある遊びを楽しむ。
- 友だちの頑張っている姿を認め、喜ぶ。
- 相手の思いを聞く。
- 友だちの話に耳を傾ける、自分の思いを伝える→認め合い

人間性

知

- 年長になった自覚と喜びをもって園生活を楽しむ。
- 植物の成長に期待をもって自主的に世話をする。
- 葉っぱの形や枚数、ツルの長さなどに気づく。
- 春の自然に親しみ遊びに取り入れる。
- 数や図形に興味を持つ。
- 言葉のおもしろさに気づく。
- 友だちと一緒に考えて遊びを発展していく。
- 難しいと思われることや苦手なことに挑戦する。

【自ら学ぶ子(知)】

- 言葉の意味を理解し、友だちと協力して仲間探しをする。
- 園庭に咲きほこる春の花々を見て、興味をもって観察する。
- 4月 春の季節に興味をもつ
- 気づいたことをさらに試していくバージョンアップ高める。もっとこうしたいこだわり、もっとこんな色、もっと大きなシャボン玉、もっとかたい泡
- 勝ち負けに触れる。作戦をたててみようとする。
- 水・泥・砂 感触を味わう。性質を知る。
- 素材を知って試そうとする。
- 道具を試そうとする。
- 興味をもったことを、やってみようとする。関わろうとする。
- 繰り返し試す。

思

遊びを通して総合的な育ちを見取っている
就学前教育を再確認

→「知識・技能の基礎」「思考力・判断力・表現力の基礎」が重なり合っていたり「~しようとする」や「喜ぶ」が多いなど総合的に育つ幼児教育の特性が見られる。

実践例⑤ 月ごとの遊びから ～6月初旬～

⑤昨年度、月ごとに大切にしていた活動をクローバーの視点で整理

→大切にしている月ごとの遊びだけでは偏りがある。時期によっては重点的に子どもに育てている視点があることが見えてきた。

クローバーの視点を総合的・一体的に捉えた

指導計画の見直しが必要では?!

(可視化できていない資質能力があるのでは?!)

2学期に向けて ～モデル地域開発会議に対する架け橋事務局の支援～

2学期の生活科合同授業保育の実践においてクローバー図を活用

クローバーの視点を活用することで、ねらいを明確に!

↓
1学期からの成長をクローバーの視点で整理

↓
架け橋期の育ち(資質能力)の積み上げを見える化

↓
環境構成を含む先生の配慮などの意見交流

クローバーの視点が絡み合いながらバランスよく育つイメージの共有!

- ↓
- ① それぞれの施設で小学校を見通した視点でカリキュラム・マネジメント
 - ② 幼児教育を踏まえた生活科の単元をカリキュラム・マネジメント

子どもたちの姿と資質能力をつなぐカリキュラム(名称未定)を、小学校の生活科を手掛かりとして作成する!

実践例⑥ 5歳児の砂場遊びから～8月上旬～

⑥5歳児の砂場遊びから読み取った子どもの育ちをクローバーの視点で整理

知

「どうしたら楽しくなるのかな」
「前はこんな風にしていたな」
「次はこうしてみよう」

水の流れ、勢い、高低差、物（トユやペットボトルの蓋）と水の関係性、砂・土・水の性質、特性、感触
物の使い方（数、角度、組み合わせ）

・午前 自由選択活動での様子。
・砂場の環境に水を用意して数日後、川やトンネルを作ることを楽しんでいたため、トユを置く、トユをつなげたり、水の流れを誤ったりする姿が出てきたことで、さらに数日後、ペットボトルのキャップも環境に出しておいたところ、写真の遊びの姿になった。



徳

OOOしたい思いを伝え合う
（聞き合う、説明し合う）
OOOしているつもりを分かり合おうとする

順番を守る

・役割分担 喜び合う、アイデアの広がり
共感 保護者へ伝達

必要感から役割分担していく力

・協力し合う、役割分担、大切に、規範意識
協調性、チームワーク、助け合い

距離があり連携が
難しい校区でも
クローバーの視点で
協議ができそう！

体

・手足の刺激、精神面の安定、発散、砂・水の感触
夢中になって充実感 気持ちよさ・喜び
全身遊び

「考えて試してやってみたら
うまくいった！」

自分たちで励まし合って楽しんでいく力

友だちと声を掛け合って遊びを進めていく力

「力」は子どもに身につけていること

「姿」は周りから見えていること

人間性

思

「もっとOOOしたい、どうしようかな」
「よりよく遊ぶにはどうしたらいいかな」

・コースづくり トユのつなげ方

Ⅱ 『クローバー図』を参考に、各校区体制において
「育みたい 資質・能力」の設定～8月上旬から1月中旬～



各校区会議にてクローバー図を手掛かりに対話をしながら決定

各校区の「育てたい資質能力」参考例

A小学校より(地域の実態から)

- ・自分の思いをまずは出し合いながら、友だちの意見を聞き、その上で相談したり、認め合ったりする力(コラボレーション)
- ・育ちの中でいろいろな思いや経験を受容してもらうことを積み重ね、失敗を恐れずに、意欲や向上心をもって何事にも(チャレンジ)する力

B小学校(交流活動の実態から)

違いを認め合おう いっしょにやろう!

「一緒にやろう」と言える子どもの育成

C小学校(クローバーの視点から)

知	自分を知り自分の目標に向けて取り組む
徳	他者と協力して、自分の役割に従って取り組む
体	安全に気をつけて、健康に過ごす
思	試行錯誤し、創造力を生かして取り組む
人間性	他者を認め、対等に協力して取り組む

実践を生かした「枚方版架け橋期のカリキュラム(名称検討中)」作成へ

見えてきたこと

- 子どもたちは、単元・遊びのまとまりを通して一体的に5つの資質能力を身につけている
- 時期によって重点的に育てている資質能力がある
- 1年を通してみると、どの資質能力もバランスよく育てている
- 視点を踏まえることで子どもに育てている資質能力が見えてくる



- 5つの資質能力が絡み合いながら育っていく概念を共有できる資料の作成
- 各校区で共有した育てたい資質能力のプロセスをカリキュラム(名称検討中)に反映
- 交流活動を通して見えてくる資質能力をカリキュラム・マネジメントに反映

【教師の指導・援助及び子供の学びの変化】

モデル地域の取組から

①スタート・カリキュラムから

②生活科合同授業保育から

③アンケート結果（11月に集約予定）

「うりこタイム」

朝の時間に教室内的での自由選択活動を導入
(読書・折り紙・ぬり絵・パズルなど)

幼児期の経験を
活かした遊びの時間を
設定してほしいな♪



①スタートカリキュラムから【就学前児童施設からの提案】

それぞれの思い

幼・・・子ども・先生とつながる遊びを（子ども理解・関係づくりを優先）

小・・・生活規律・ルールの徹底が優先（学級崩壊の回避）

無理のないところから遊び
時間（うりこたいむ）を
設定してみよう！

先生の工夫で
遊び環境が
どんどん改善

なかなか遊べずに
笑顔が見られない
子どもがいて……

よりよい「うりこタイム」にする
ための対話が活発化

先生同士の関係づくりへ

その子が幼児期に好きだった遊びを
取り入れてみては？



メリット

- ・児童理解につながった。友だち関係を把握できた。
- ・子ども同士が同じ興味でつながっていった。
- ・一人一人が活躍できる場を見つけられた。
- ・保護者にとっても安心感につながった。

課題

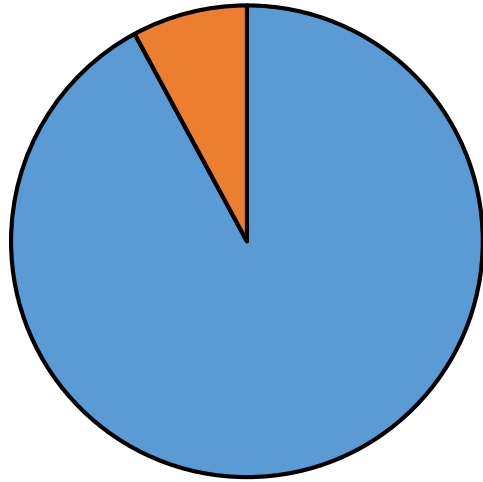
- ・1年生4クラス揃えること。
- ・気になる保護者の目。
- ・変化を恐れ、これまで通りでよいという考え方。
- ・休み時間とつなげたい。

小学校の先生の意識の変化が
今後の意欲的な取組へ



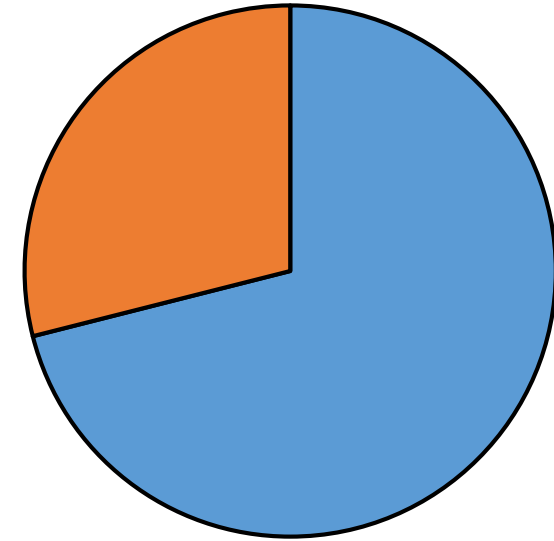
①スタートカリキュラムから 【保護者アンケート】

うりこタイムについて



- 学校へ行く楽しみの1つとなっていた
- どちらともいえない

5歳児との交流について



- とても良いと思う
- 良い

遊び時間が子どもたちの楽しみに!

①スタートカリキュラムから 【令和6年度に向けて全小学校において見直し】

第2回 幼保こ小連携担当者連絡会（年3回実施）で共有

好事例として
発信
（モデル地域
以外含む）



全校区で
スタート
カリキュラム
の検討



各校区会議にて
一緒に検討

- ・幼児期の遊びや学びと小学校の学びをつないでいる工夫
- ・小学校側が持っている、迎え入れるための様々な工夫
- ・就学前児童施設との交流で得た、さらなる子ども理解など

【教師の指導・援助及び子供の学びの変化】

①スタート・カリキュラムから

モデル地域の取組から

②生活科合同授業保育から

③アンケート結果から

当初の保育案

視点を入れた保育案に改善

ねらいは2つの視点

振り返ると5つの視点が指導上の配慮事項に!

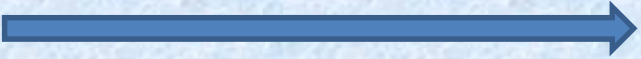
本時の活動	「みんななかよしなつまつり」で夏遊びを楽しむ。			
本時のめあて	園児との交流や、夏の遊びへの気持ちを伝え、自分たちの生活を楽しくしたり、よりよくしたりできるようにする。			
5歳児のねらい	小学校の雰囲気を知ったり、1年生や教師に親しみの気持ちをもったりしながら、様々な夏の遊びを楽しむ。			
時間	学習活動	備考	指導上の留意点及び援助	
8:45	お着替える。	・水着の上に体操服を着用し、ビーチサンダルを履く。	幼稚園	小学校
9:10	お砂場にて、活動の準備をする。	・児童自身で作成した看板を置き、その周辺に活動に必要なものを準備させる。	・水遊び用の服に着替え、小学生との遊びに期待が持てるように話をする。	・時間内で準備ができるよう、事前に必要なものを話合ってから決めておく。
9:35	あいさつとめあての確認をする。	・児童の言葉で始まるあいさつと場の紹介を行う。	・浜田先生や1年生の話を興味をもてるよう、雰囲気作りをする。	・司会の児童と、それぞれの場の児童から園児に向けて紹介ができるように事前に見通しを持たせておく。
	1年生の児童は事前に自分で選択した活動を展開し、園児は自由選択活動を行う。 【場の設定】 ◆水遊び 「みずてっぼうや」 「みずのたからさがし」 「みずながしあそびやさん」 ◆砂、泥遊び 「すなのながしそらめん」 「どろだんごやさん」 「すなのたからさがし」	・本時は「みんななかよしなつまつり」と題して、お店形式で場を設定する。児童はお店員としての役割を果たしつつも一緒に夏の遊びを楽しむ。	・自分の好きな遊びを見つけて遊ぶことができるよう遊びを紹介したり、教師も一緒に遊んだりする。 ・「5歳児さんを楽しませる」ではなく、「いっしょに楽しめる」お店づくりを心掛けるよう指導する。	・「5歳児さんを楽しませる」ではなく、「いっしょに楽しめる」お店づくりを心掛けるよう指導する。



本時の活動	「みんななかよしなつまつり」で夏遊びを楽しむ。			
本時のめあて	園児との交流や、夏の遊びへの気持ちを伝え、自分たちの生活を楽しくしたり、よりよくしたりできるようにする。			
5歳児のねらい	友達と一緒に様々な夏の遊びを楽しんだり、小学校の雰囲気を知ったり、1年生や教師に親しみの気持ちをもったりしながら、様々な夏の遊びを楽しむ。			
時間	学習活動	備考	指導上の留意点及び援助	
8:45	お着替える。	・水着の上に体操服を着用し、ビーチサンダルを履く。	幼稚園	小学校
9:10	お砂場にて、活動の準備をする。	・児童自身で作成した看板を置き、その周辺に活動に必要なものを準備させる。	・水遊び用の服に着替え、小学生との遊びに期待が持てるように話をする。	・時間内で準備ができるよう、事前に必要なものを話合ってから決めておく。
9:35	あいさつとめあての確認をする。	・児童の言葉で始まるあいさつと場の紹介を行う。	・浜田先生や1年生の話を興味をもてるよう、雰囲気作りをする。	・司会の児童と、それぞれの場の児童から園児に向けて紹介ができるように事前に見通しを持たせておく。
	1年生の児童は事前に自分で選択した活動を展開し、園児は自由選択活動を行う。 【場の設定】 ◆水遊び 「みずてっぼうや」 「みずのたからさがし」 「みずながしあそびやさん」 ◆砂、泥遊び 「すなのながしそらめん」	・本時は「みんななかよしなつまつり」と題して、お店形式で場を設定する。児童はお店員としての役割を果たしつつも一緒に夏の遊びを楽しむ。	・自分の好きな遊びを見つけて遊ぶことができるよう遊びを紹介したり、教師も一緒に遊んだりする。 ・「5歳児さんを楽しませる」ではなく、「いっしょに楽しめる」お店づくりを心掛けるよう指導する。	・「5歳児さんを楽しませる」ではなく、「いっしょに楽しめる」お店づくりを心掛けるよう指導する。

クローバーの視点で捉えた子どもの姿を保育案に反映すると子どもに関わる大人の視点がわかりやすくなった!

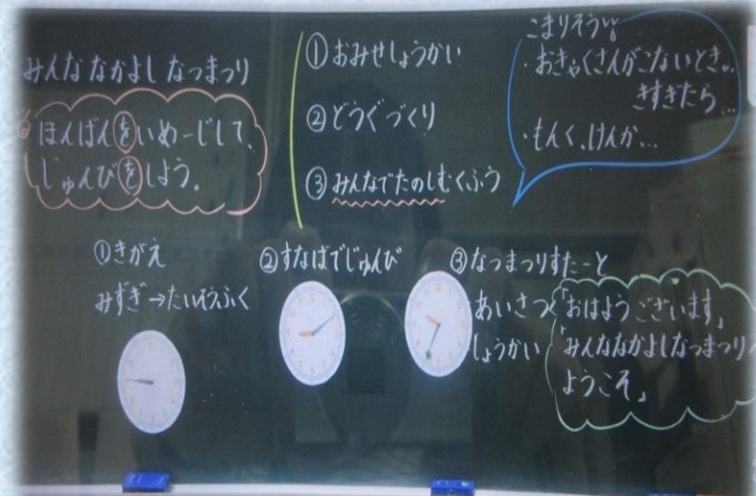
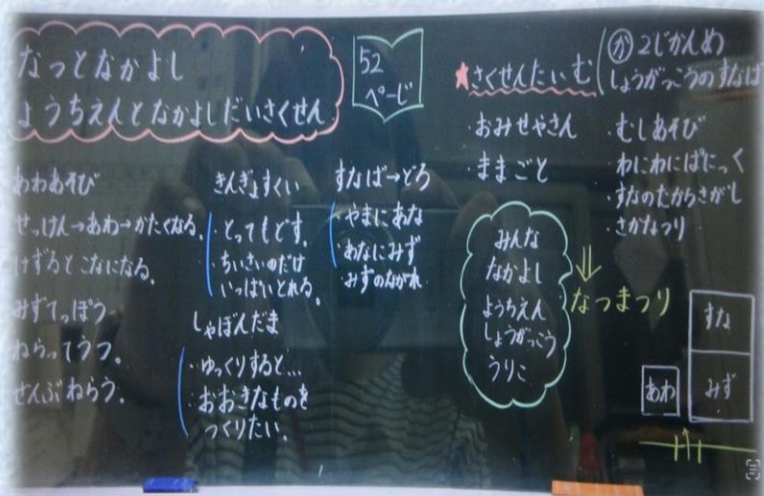
当日の授業・保育



単元を通して振り返り

どうしてねらいが2つなの？

単元の中の今日の授業としてのねらいだからだ。



交流当日だけでなくその過程や流れを知ることによってどこでどの視点を見取っているのかが分かった！

生活科合同授業保育から 【モデル地域開発会議での振り返り】

気づいた点

モデル小1年1・2・3・4組と就学前児童施設（幼稚園、保育所、保育園、子ども園）

- 1年生が自分で考えて行動に移す姿をみて、1年生の育ちがよくわかった。
- これまで、小学校と幼稚園の見方の違いを感じつつも、交流だけで終わっていたところがあったが、一歩ふみこんで、なぜそう思うの？なぜそうしたいの？と疑問に思うことを聞いたり、意見を交換し合うことができるようになった。
- まずは自己紹介等、段取りを考えていたが、幼稚園からそのままの姿をみることの提案を受け、意識して見守るようにすると、自分達で遊びを発展していく様子が見られた。

対話こそ大事

本題

○幼児期は時間に余裕があるが45分を意識した時間の使い方しておくべきなのではないか。

→幼児期は遊びこんでほしい。スタートカリキュラムで徐々に時間を意識している。

○待つとは、子ども自身が次に進みたくなる気持ちを待つことであり、そのために必要な手立てをしていくことが大切である。幼児期に待ってもらえた経験と子どもが知りたい、やってみたいという肯定的な姿を強化するため、認めたりほめたりする先生の関わりが必要ではないか。

2学期に向けて

交流前に予想される子どもの姿をクローバー図で共有

交流後に実際の子どもの姿を色違いの付箋で貼付

資質能力の育ちが見えることで、先生の意識がどう変わるのか検証
先生の関わりは？
環境構成は？など

5歳児との交流について

- ・1年生になると急にお世話をしてもらうばかりの立場になるので、お兄さん、お姉さんとして幼稚園の子達と触れ合う機会がとてもよい。
- ・自分より小さい子に対して、思いやりや自信の成長を感じる機会になる。
- ・年下の子たちと触れあい、楽しく遊びながら過ごすことで、少し幼稚園に戻れた気分になりストレスも発散できる。
- ・年長時に当時の1年生に相手をしてもらい、とても優しくしてもらった印象から、圧のある存在だった小学校に対しての苦手意識を克服した。今度は年長児をフォローする立場となり、経験を活かせる良い機会となっている。

【今年度のゴール】

各校区ごとに

- ・ 就学前児童施設の意見も踏まえたスタートカリキュラムの作成
- ・ 「〇〇小地域で育てたい資質能力」の共有
- ・ 交流活動の充実

全校区が資質能力をつなげることを意識できる基盤づくり

市の体制として

- ・ モデル地域でクローバー図を活用した架け橋期のカリキュラム(名称変更)作成を支援
- ・ 枚方版架け橋期のカリキュラム(名称変更)を周知(2月の管理職研修にて)
- ・ 窓口連携体制の拡充と支援

これまでのカリキュラムという概念からの発想転換(名称検討)

【次年度以降の展望】

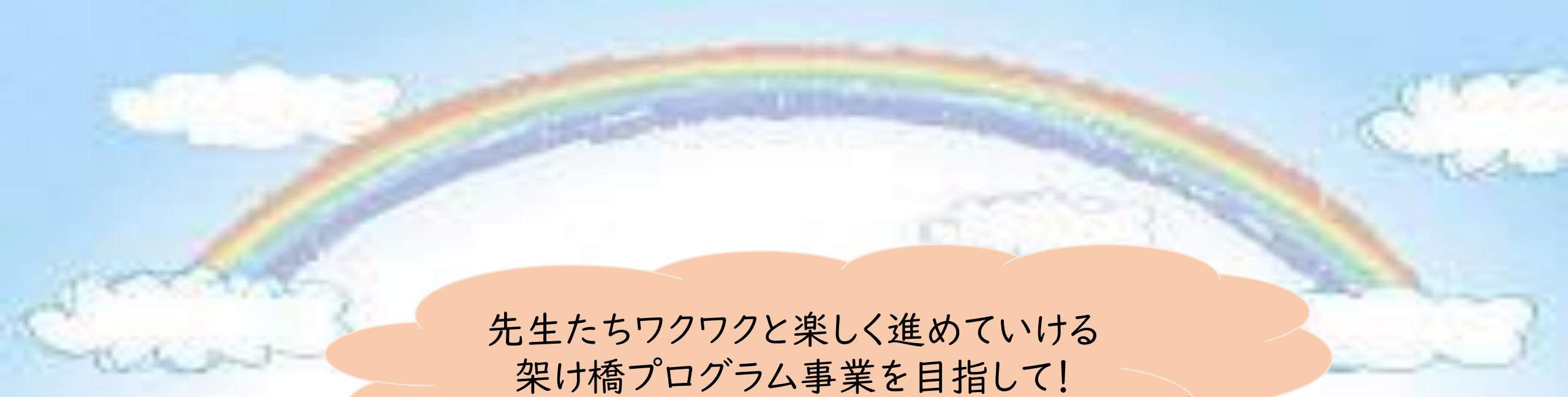
各校区ごとに

- ・ 就学前児童施設の見解も踏まえたスタートカリキュラムの実施・検証
- ・ 「〇〇小学校区版架け橋期のカリキュラム(名称変更)」の作成

市の体制として

- ・ 横のつながりの強化 【小学校同士・就学前児童施設同士】
- ・ 中学校区体制の推進
- ・ 地域、保護者への発信の強化

資質・能力でつなぐことで
教育・保育内容の質向上へ



先生たちワクワクと楽しく進めていける
架け橋プログラム事業を目指して!



各校区の取組を広く発信することで
先生たちが必要感ややりがいをもって
活用していけるものとなるように☆